

奈良県の農林水産業の概要

特徴・取組

奈良県は近畿地方のほぼ中央に位置し、海岸に接しない内陸県で、北部大和平野と南部山地とに大別できる。気候は概ね温暖で、北部の大和平野では内陸性気候、北東部の大和高原では内陸性気候と山岳性気候の特徴を有し、気温の日較差が大きい。

京都や大阪・神戸への交通の便もよく、大都市のベッドタウンとしての特色を有し、都市近郊農業が営まれている。主な産業は観光業であり、近年、外国人観光客の増加に伴い、宿泊施設の拡充など、現在、県を挙げて集客に取り組んでいる。

農業は、京阪神の大消費地に近いという立地条件を活かして、北部の大和平野では米を中心に野菜や花き、北東部の大和高原では茶、畜産、高原野菜、北西部の丘陵地帯では、きく、南部の五條・吉野地域では、かきやうめなどの果樹栽培が盛んである。

林業は、県中央東寄りに「吉野林業地域」と呼ばれる全国屈指の高級材の産地があり、主にスギ、ヒノキの木材生産が行われている。

漁業は、県南部・東部であゆ、あまごなどの内水面漁業、県北西部では観賞用の金魚の養殖業が盛んである。

県独自の取組として、県内の農地を有効活用・生産性の向上を図るため、4市3町(大和郡山市、天理市、五條市、宇陀市、平群町、田原本町、広陵町)10地区を「特定農業振興ゾーン」としてエリア設定し、生産振興・産地形成を図っている。

また、県産品の振興面では、県産食材の需要拡大を図り、将来の成長品目として育成を図るチャレンジ品目(大和野菜、切り枝、有機野菜等)の生産拡大と、今後の奈良県農業を牽引するリーディング品目(かき、きく、茶、いちご、大和畜産ブランド(大和牛、ヤマトポーク、大和肉鶏等))の産地競争力強化を進めている。

主な農林水産物

かき

全国有数の産地。「奈良の柿」として全国・首都圏に出荷。(収穫量全国2位)



きく(切り花)

小ぎく・二輪ぎくの産地を形成。関西市場で高い占有率を確保。(きく：出荷量全国6位)



いちご

アスカルビー、古都華、奈乃華等の品種を開発・育成。



茶

「大和茶」のブランドで産地を形成。



畜産物

大和牛、ヤマトポーク、大和肉鶏、大和なでしこ卵、大和の雫(蜂蜜)としてブランド化。



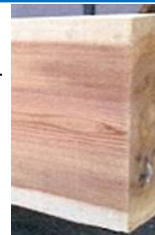
大和野菜

大和まなや干筋みずな等を大和野菜に県が認定し、推進。



スギ・ヒノキ

木目が美しく、建築用材として高い評価。吉野杉は全国的に有名。



切り枝・切り葉

サクラ・アセビ・コウヤマキなど1年を通じて多様な品目を出荷。(切り枝：出荷量全国8位)



金魚

「奈良県のさかな」に指定。(平成24年6月指定)

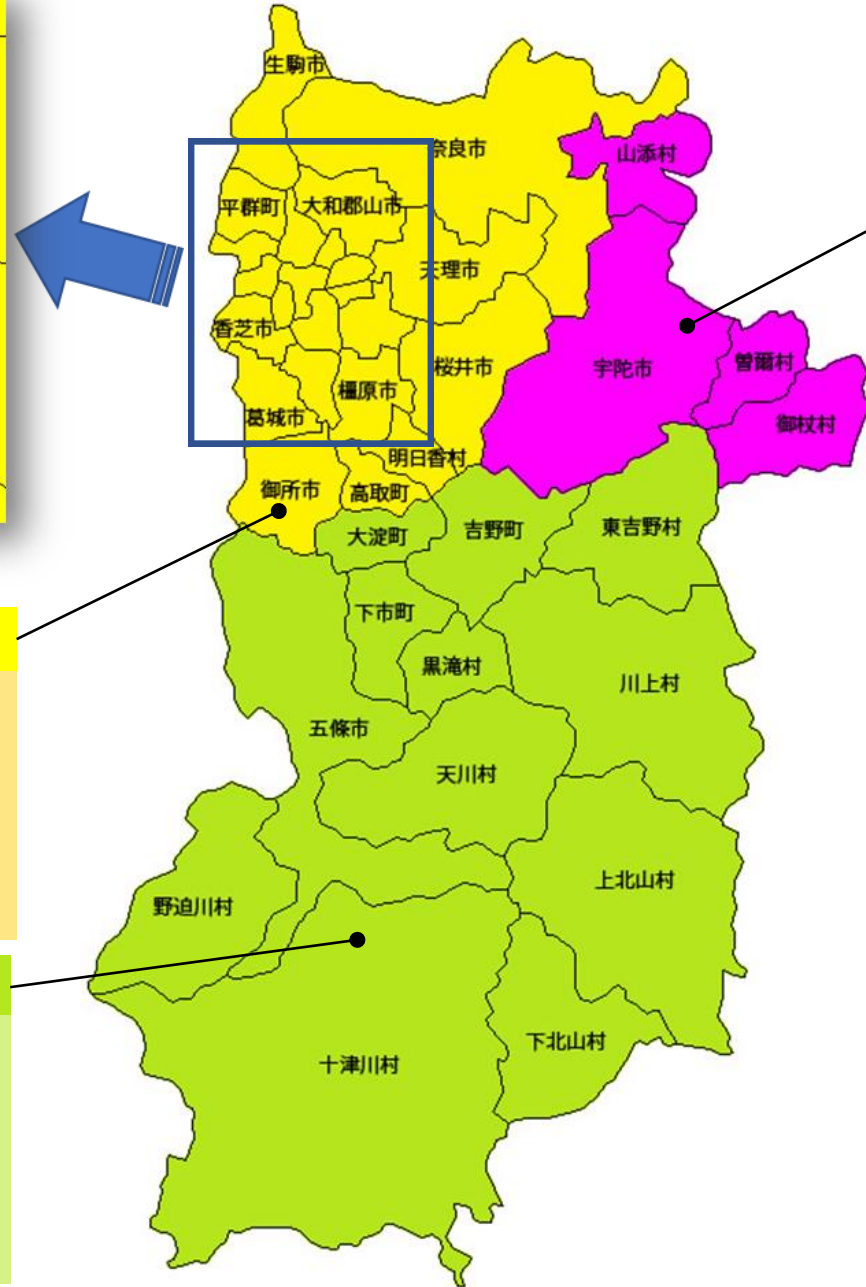


薬用作物

大和トウキ・キハダなどを振興。



奈良県内の各地域における農林水産物



大和高原地域

【農畜産物】ほうれんそう、しゅんぎく、みずな、牛肉、生乳、茶、水稲、花き（ダリア）
 【林産物】スギ、ヒノキ

大和平野地域

【農畜産物】花き〔切り花類（小ぎく、輪ぎく、ばら）、花壇用苗木類、シクラメン（鉢もの類）〕、いちご、イチジク、しゅんぎく、こまつな、ねぎ、なす、トマト、かき、茶、水稲、生乳、豚肉
 【水産物】金魚

五條・吉野地域

【農畜産物】かき、うめ、なす、トマト、きゅうり、ねぎ、水稲、薬用作物（トウキ、シャクヤク）、切り枝（切り花類）、生乳、卵、鶏肉、豚肉
 【林産物】スギ、ヒノキ
 【水産物】あゆ、あまご

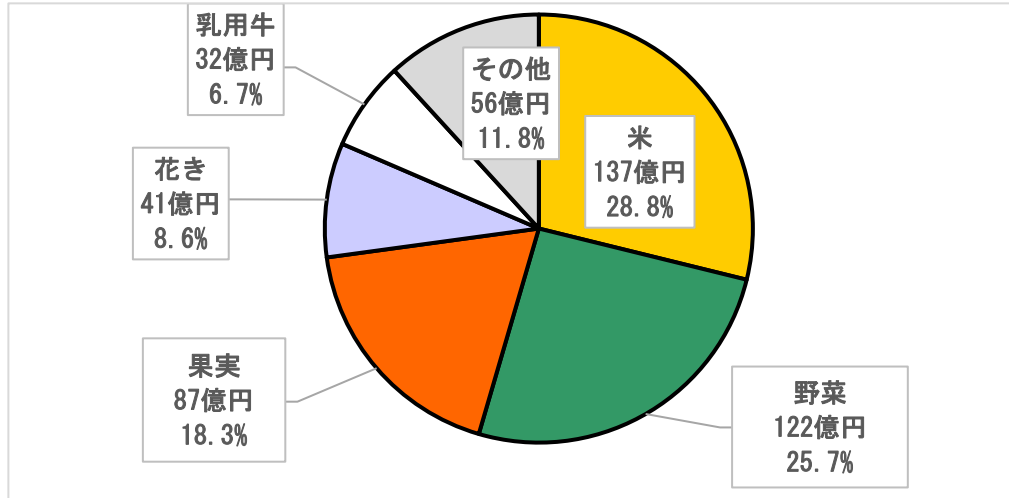
全域

【農産物】大和野菜：25品目（大和まな、千筋（せんすじ）みずな、宇陀金（うだきん）ごぼう、大和いも、結崎ネブカ（ゆうざきねぶか）（ねぎ）、黄金まくわ（ウリ）、大和丸なす、下北春まな（漬け菜）、大和寒熟ほうれん草、ひもとうがらし、軟白ずいき、祝だいこん、小しょうが、花みょうが、大和きくな、紫とうがらし、片平あかね（蕪）、筒井れんこん、大和三尺きゅうり、味間いも（あじまいも）、黒滝白きゅうり（くろたきしろきゅうり）、大和ふとねぎ、香りごぼう、半白きゅうり、朝採り野菜）

奈良県の農業（1）

- ・ 農業産出額は475億円で全国45位。うち米が137億円（28.8%）、野菜が122億円（25.7%）、畜産が61億円（12.8%）。
- ・ 農畜産物の生産状況は、かきが全国2位、パンジー、きくが6位、切り枝が8位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	奈良県	全国	全国順位
水稻	収穫量	41,600 t	7,790,000 t	41
小麦	収穫量	422 t	1,031,000 t	30
大豆	収穫量	67 t	252,400 t	39 *
なす	収穫量	3,500 t	280,200 t	19
ほうれんそう	収穫量	2,860 t	189,900 t	18
いちご	収穫量	2,240 t	156,600 t	16
かき	収穫量	24,700 t	167,300 t	2
パンジー	出荷量	4,930 千本	96,900 千本	6
切り枝	出荷量	6,250 千本	194,600 千本	8
きく	出荷量	40,700 千本	1,111,000 千本	6

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」

農業産出額のデータ

区分	奈良県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	475 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	45
米	137 億円 (28.8)	25,524 億円 (23.7)	41
麦類	0 億円	582 億円	26 *
雑穀	0 億円	87 億円	42
豆類	0 億円	621 億円	41
いも類	4 億円	2,565 億円	46
野菜	122 億円 (25.7)	25,510 億円 (23.7)	44
果実	87 億円 (18.3)	10,112 億円 (9.4)	28
花き	41 億円	3,423 億円	27
工芸農作物	7 億円	1,577 億円	19
その他作物	7 億円	583 億円	20 *
畜産	61 億円 (12.8)	36,654 億円 (34.0)	43
肉用牛	9 億円	7,861 億円	43
乳用牛	32 億円	10,035 億円	34
生乳	31 億円	8,937 億円	32
豚	3 億円	7,567 億円	42
鶏	15 億円	10,170 億円	44
鶏卵	14 億円	5,764 億円	40
ブロイラー	x 億円	4,259 億円	- *
その他畜産物	1 億円	1,021 億円	33
加工農産物	9 億円	565 億円	12

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「0」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

奈良県の農業（2）

- ・耕地面積は1万8,700haで全国44位。うち田が1万3,200ha、畑が5,430ha。
- ・農業経営体数は8,519経営体で全国43位。うち法人経営体数が178経営体で45位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は868経営体で全国46位。うち法人数が112法人で44位。
- ・農業生産関連事業は、観光農園の年間販売（売上）金額が4億円で全国29位、農業経営体数は40経営体で33位。

耕地面積

区分	奈良県	全国	全国順位
耕地面積	18,700 ha	4,272,000 ha	44
田	13,200 ha	2,319,000 ha	41
畑	5,430 ha	1,952,000 ha	42
普通畑	2,250 ha	1,118,000 ha	43
樹園地	3,140 ha	248,600 ha	25
牧草地	37 ha	585,900 ha	42
参考) 総土地面積	3,690.94 km ²	377,979.74 km ²	40

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	奈良県	全国	全国順位
荒廃農地面積	1,463 ha	256,667 ha	41

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	奈良県	全国	全国順位
農業経営体数	8,519 経営体	836,054 経営体	43
法人経営体数	178 経営体	33,819 経営体	45
総農家数	17,662 戸	1,394,135 戸	37
販売農家数	8,305 戸	792,808 戸	41
参考) 世帯総数	544,981 世帯	55,830,154 世帯	30
集落営農数	44 集落営農	13,952 集落営農	39

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	奈良県	全国	全国順位
担い手への集積面積	4,492 ha	2,627,068 ha	44
集積率	24.0 %	61.5 %	45

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	奈良県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	8,282 人	1,036,228 人	42
男	5,890 人	659,332 人	42
女	2,392 人	376,896 人	41
65歳以上	6,274 人	721,311 人	42
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	75.8 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	868 経営体	212,136 経営体	46
法人数	112 法人	29,684 法人	44
参考) 人口総数	1,324,473 人	126,146,099 人	29

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	奈良県	全国	全国順位	
農産加工	総額	4,281 百万円	1,006,107 百万円	42
	事業体数	300 事業体	26,910 事業体	36
農産物直売所	総額	14,677 百万円	1,134,381 百万円	37
	事業体数	190 事業体	20,960 事業体	37
観光農園	総額	389 百万円	39,113 百万円	29 *
	農業経営体数	40 経営体	4,350 経営体	33
農家民宿	総額	x 百万円	4,933 百万円	- *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	x 百万円	39,900 百万円	- *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

奈良県の林業

- ・ 林業産出額は20.0億円で全国38位。うち木材生産が14.2億円、栽培きのこ類生産が4.5億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国37位、くろあわびたけが全国1位、木質粒状燃料が7位。

林業産出額

区分	奈良県	全国	全国順位
林業産出額	20.0 億円	4,769.8 億円	38
木材生産	14.2 億円	2,369.4 億円	34
栽培きのこ類生産	4.5 億円	2,322.7 億円	40

出典：「令和6年林業産出額」

林野面積

区分	奈良県	全国	全国順位
林野面積	283,072 ha	24,744,214 ha	31
国有林	12,798 ha	7,117,059 ha	37
民有林	270,274 ha	17,627,155 ha	28
人工林面積	172,625 ha	10,059,386 ha	26

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区分	奈良県	全国	全国順位
林業経営体数	399 経営体	23,300 経営体	21
法人経営体数	59 経営体	3,813 経営体	26

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区分	奈良県	全国	全国順位
素材生産量	93 千m ³	19,763 千m ³	37
針葉樹	90 千m ³	18,398 千m ³	36
すぎ	51 千m ³	11,716 千m ³	37
ひのき	39 千m ³	3,019 千m ³	25
広葉樹	3 千m ³	1,365 千m ³	34
ぶなしめじ	生産量 197 t	117,536 t	11 *
くろあわびたけ	生産量 15 t	100 t	1 *
木質粒状燃料	生産量 5,199 t	151,868 t	7 *
薪	生産量 781 層積m ³	99,161 層積m ³	23

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

製材工場数

区分	奈良県	全国	全国順位
製材工場数	126 工場	3,547 工場	4
製材用素材の入荷があった工場数	123 工場	3,492 工場	4
国産材のみ	119 工場	3,013 工場	5
国産材と輸入材	2 工場	386 工場	32

出典：「令和6年木材統計」

奈良県の水産業

・水産物の生産状況は、内水面養殖業のその他のます類が全国28位。

漁業産出額

区分	奈良県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	0 億円	14,785 億円	-
海面漁業	0 億円	8,894 億円	- *
海面養殖業	0 億円	5,891 億円	- *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	奈良県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	0 経営体	65,662 経営体	-
内水面漁業経営体数	73 経営体	4,076 経営体	17

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	奈良県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	0 人	121,389 人	-
男	0 人	109,757 人	-
女	0 人	11,632 人	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	奈良県	全国	全国順位
漁船隻数	0 隻	109,284 隻	-
動力漁船	0 隻	58,907 隻	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	奈良県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	- t	3,589,121 t	- *
海面漁業漁獲量	- t	2,786,195 t	-
海面養殖業収獲量	- t	802,927 t	- *
内水面漁業・養殖業生産量	11 t	47,046 t	39 *
内水面漁業漁獲量	0 t	17,915 t	41
内水面養殖業収獲量	11 t	29,131 t	40
その他のます類	10 t	2,074 t	28

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	奈良県	全国	全国順位
水産加工	総額	0 百万円	193,147 百万円
	事業体数	0 事業体	1,160 事業体
水産物直売所	総額	0 百万円	34,259 百万円
	事業体数	0 事業体	780 事業体
漁家民宿	総額	0 百万円	5,440 百万円
	漁業経営体数	0 経営体	540 経営体
漁家レストラン	総額	0 百万円	13,511 百万円
	事業体数	0 事業体	380 事業体

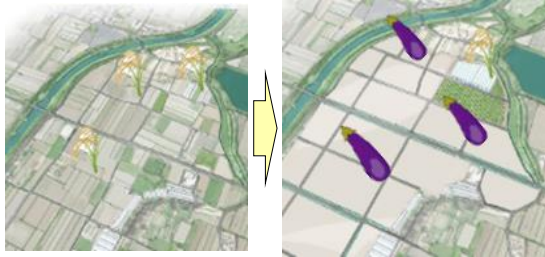
出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

奈良県の農林水産業の話題等（1）

特定農業振興ゾーンの設置

奈良県では、農地の有効活用と農業の生産性の向上を図るため、平成30年度から**農業振興施策を集中的・優先的に推進する特定農業振興ゾーンの設置・拡大に取り組んでいる。**

○圃場整備
(区画の大規模化)



スマート農業の導入支援で省力化推進

イチゴ栽培施設
の環境制御



○機械・施設の整備等

農業生産性の向上

例：高収益作物への転換



例：イチゴのハウス栽培

(広陵町百済川向地区の例)

現在の担い手の耕作状況



現在の狭小な水田

将来の農地活用



- ・新たな高収益作物（ナス）への転換
- ・集落営農の組織化
- ・ほ場整備（大区画化）

設定地区	農地面積	テーマ
田原本町法貴寺	72.0ha	スイカ採種の規模拡大、イチゴ等の振興
田原本町八田	55.0ha	ナス、トマト、軟弱野菜の規模拡大
広陵町寺戸	3.4ha	イチゴ産地の復活、集落営農の組織化
広陵町百済川向	22.0ha	ナスの産地復活、集落営農の組織化
五條市丹原	12.4ha	法人と連携した青ネギの導入、集落営農の組織化、法人化

設定地区	農地面積	テーマ
宇陀市伊那佐東部	51.5ha	軟弱野菜、有機野菜、花き等の生産拡大
大和郡山市三橋	18.0ha	大和丸なすの振興と次世代への継承、農地利用促進と担い手への集積
平群町上庄・梨本	20.0ha	イチゴ“古都華”の生産拡大、イチゴと小ギクの産地間連携
宇陀市大宇陀政始北部	33.9ha	施設軟弱野菜、祝だいこん等の振興
天理市福住・山田	21.8ha	高収益作物（トウモロコシ等）の振興と集落営農組織の法人化、企業の農業参入の推進

奈良県の農林水産業の話題等（2）

サステナブルな奈良の水田営農に関する取組



1. 農業者のグループ化を支援

- 共同育苗への取組を推進
 - ▶ 新たに育苗を共同で実施する農業者グループに対し支援
- リーダーとなり得る人の育成
 - ▶ 水稲生産の継続・発展を目指すグループリーダー育成に向け講習会を開催
- コスト低減に向けた経営改善計画の作成推進
 - ▶ 機械の共同利用の実施等を見据えた経営改善計画の作成を支援

2. 経営改善計画の具現化に向けた支援

- 販売額向上に向けた取組を推進
 - ▶ 販売単価の高い酒米の生産拡大
 - ▶ 地球温暖化に対応した高温耐性品種の迅速な現場導入に向け、有望品種を現地実証
- 農業者の機械の維持管理能力の向上
 - ▶ 農業機械の長期利用や修繕費の削減が図れるよう、メンテナンス講習会を開催